

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間 2023 年4月1日～ 2024 年3月31日)



株式会社 山田 建設

作成日: 2024/6/10
発行責任者: 山田 敏秀

目 次

項 目	頁
あいさつ	2
環境経営方針	2
取組対象組織・活動	3
事業の紹介	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	5～7
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	8
緊急事態対応訓練	8
代表者による全体の評価と見直し・指示	9
これまでの環境活動の紹介	9

□ごあいさつ

創業以来、公共事業を中心とした土木工事等の一般土木を主体に成長し、常に優れた品質を社会に提供することをモットーに地域社会の基盤作りに貢献してまいりました。最近では業界全体に公共事業のIT化が加速する今、より一層の技術力等を養い、自然環境を重視し、社会に貢献してゆく事をめざします。

環境経営方針

<環境経営理念>

当社は、滋賀県の北部に位置し、琵琶湖という大きな水瓶があります。その水瓶に流れているたくさんの河川の1つである、天の川の側で事業活動を展開していることを自覚し、環境経営活動を継続的改善しながら、社員全員で邁進していきます。

[トップへ](#)

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 事務所での電気使用量及び重機車両の燃料使用量を減し、CO₂の排出量を削減します。
3. 事業活動のゴミの廃棄に関して、分別を積極的に実施することにより、リサイクルを推進し、廃棄物を削減します。
4. 建設現場から排水する水の汚染、汚濁を防止し、事業所での節水に努め、水の使用量を削減します。
5. 環境に配慮した施工を推進します。
6. 環境活動の社会貢献を推進します。
7. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。
8. この環境経営方針は全従業員に周知、徹底します。

制定：2005年4月1日

改訂：2022年6月1日

代表取締役 山田 敏秀

□取組対象組織・活動

(1) 名称及び代表者名

株式会社 山田建設

代表取締役 山田 敏秀

本社(事務所・駐車場・倉庫・資材置場)

滋賀県米原市箕浦439番の1

TEL:0749-52-4451

FAX:0749-52-4818

E-mail : k-yamada4451@zeus.eonet.ne.jp

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 代表取締役 山田 敏秀

TEL:0749-52-4451

担当者 総務部 磯谷 楓

TEL:0749-52-4451

(4) 事業内容

総合建設業(土木、とび・土工、舗装、しゅんせつ、造園、建築、水道施設)

(5) 事業の規模

売上高 145,519 千円 2023年度

	事務所床面積	倉庫床面積	駐車場面積	資材置場面積	合計
従業員 名	6 名	-	-	-	6
延べ床面積 m ²	160 m ²	600 m ²	200 m ²	100 m ²	1,060

(6) 事業年度

4 月 1 日 ~ 3 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 株式会社 山田建設

対象事業所: 本社(事務所・駐車場・倉庫・資材置場)

対象外: なし

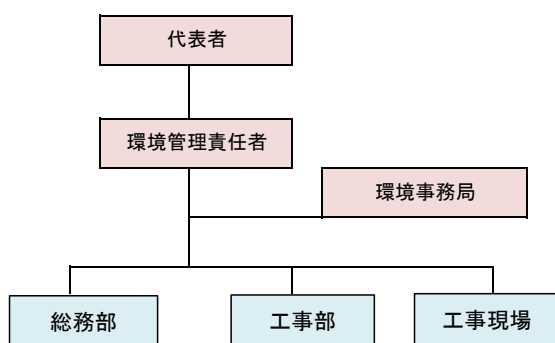
活動: 総合建設業(土木、とび・土工、舗装、しゅんせつ、造園、建築、水道施設)

□事業の紹介

主な事業の紹介

工事名: 高時川単独河川改良工事





※全従業員は、当社に構築された環境経営システムを理解し、策定された環境経営方針の下、環境経営目標の達成に向けて、環境経営計画に基づき、一致協力して環境取組を行う。

役割、責任及び権限一覧

担 当	内 容
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の内部・外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) ・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	114,843	166,997	234,805
二酸化炭素総排出量百万円原単位	kg-CO ₂ /百万円	580	637	1,510
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	2.00	25.50	37.0
産業廃棄物排出量	トン	4.0	188.6	75.6
水使用量	m ³	0.0	839.0	535

※二酸化炭素排出係数は、関西電力(2020年度)の0.351kg-CO₂/kWhを2023年から2025年の3ヶ年間固定する

□環境経営目標及びその実績

評価:○達成 △目標105%以内 ×未達成

項 目		年 度	基準値	2023年		評 価	2024年	2025年
			(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
			(2021年)					
電力による二酸化炭素削減	使用量		19,964	19,565	12,158	○	19,365	19,165
	kg-CO2		7,007	6,867	4,267		6,797	6,727
	基準年度比		100%	98%	61%		97%	96%
ガソリンによる二酸化炭素削減	使用量		4,347	4,260	5,081	×	4,216	4,173
	kg-CO2		10,084	9,882	11,788		9,782	9,681
	基準年度比		100%	98%	117%		97%	96%
軽油による二酸化炭素削減	使用量		37,888	37,130	84,787	×	36,751	36,372
	kg-CO2		97,751	95,796	218,749		94,818	93,841
	基準年度比		100%	98%	224%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2		114,843	112,546	234,805	×	111,397	110,249
	基準年度比		100%	98%	204%		97%	96%
一般廃棄物の削減	kg		25.5	25.0	37.0	×	25.0	24.7
	基準年度比		100%	98%	145%		98%	97%
建設副産物の再資源化率の向上	%		100%	95%	100%	○	95%	95%
水道水の削減	m³		839	822	535	○	814	805
	基準年度比		100%	98%	64%		97%	96%
環境に配慮した工事の推進	行動目標(次項による)							

* 化学物質の使用はありません。

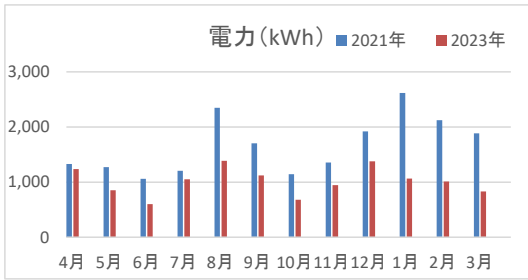
□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 △目標105%以内 ×未達成

活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

[トップへ](#)

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	設定温度の徹底に努めようと扇風機等を使用し、窓を開ける位置を工夫した結果、前年度より目標達成ができた。次年度も引き続き社員全員が一丸となって前年度目標を達成できるよう努める。
・空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)	○	
・昼休みの消灯	○	
・ノー残業デーの実施	○	
・OA機器などのスイッチオフ	○	
・クールビズに実施	○	



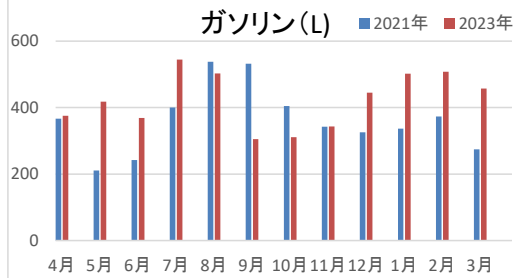
取組紹介



単位: kWh

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年	1,328	1,271	1,058	1,207	2,348	1,704	1,145	1,357	1,921	2,618	2,122	1,885	19,964
2023年	1,234	852	602	1,050	1,384	1,121	680	946	1,379	1,065	1,013	832	12,158

ガソリンによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	
・アイドリングストップ	○	基準年に比べ売上が減り、毎年現場数も増加しているのと併せて現場の場所も遠いため必然的に車両のガソリン使用量も増え、目標達成に至らなかった。次年度は、アイドリングストップ、エコドライブの実施で少しでもCO2の削減に務める。
・エコドライブの実施	○	
・不要物を積載しない	○	



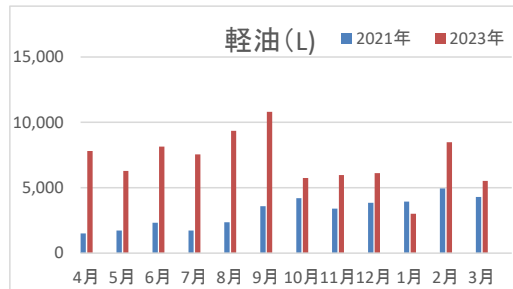
取組紹介



単位:L

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年	366	211	242	400	538	532	404	342	326	337	373	275	4,347
2023年	375	418	369	544	503	305	311	343	445	502	508	458	5,081

軽油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	
・建設重機の効率的な稼働	○	基準年に比べ売上が減り、毎年現場数も大幅に増加しているのと併せて現場の場所も遠いため必然的に建設重機及び車両の使用量も増え、目標達成に至らなかった。次年度は、アイドリングストップ、重機の効率的な稼働にも注意し、少しでもCO2の削減に務める。
・アイドリングストップ	○	
・エコドライブの実施	○	
・重機不使用時にはエンジンを切る	○	



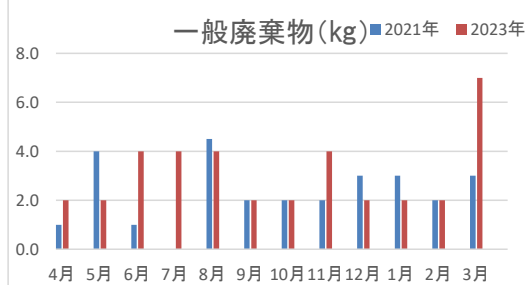
取組紹介



単位:L

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年	1,502	1,737	2,325	1,731	2,364	3,586	4,205	3,404	3,850	3,934	4,947	4,304	37,888
2023年	7,809	6,285	8,151	7,547	9,361	10,801	5,740	5,966	6,112	3,004	8,491	5,520	84,787

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	
・分別の徹底	○	保存資料の保管期限が毎月及ぶ為整理をした結果、目標達成出来なかった。工事書類の電子データ化が浸透していくことが望ましいが、社員全員が一丸となって廃棄物の削減に取り組み、次年度は目標達成出来るよう努力する。
・古紙、段ボールのリサイクル化	○	
・帳票データ化による印刷物の削減	○	



取組紹介



単位:kg

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年	1.0	4.0	1.0	0.0	4.5	2.0	2.0	2.0	3.0	3.0	2.0	3.0	27.5
2023年	2.0	2.0	4.0	4.0	4.0	2.0	2.0	4.0	2.0	2.0	2.0	7.0	37.0

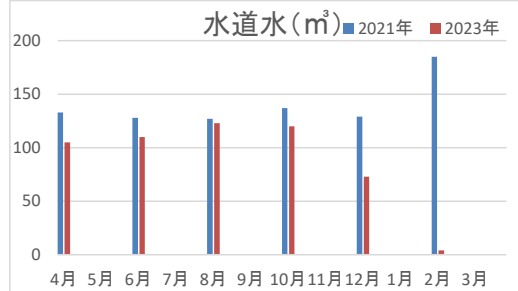
建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	設計図書で定められているため、建設現場からの産業廃棄物は、100%の再資源化率を実施する。次年度も、再資源化率の向上に努める。
・分別を行い再生利用を行う。	○	

取組紹介

- ・分別を行い再生利用を行う。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	単位%
2021年	90%	90%	90%	90%	90%	90%	90%	90%	90%	90%	90%	90%	合計
2023年	100.0%	100%	100%	100%	100%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100%	100%	100%	#DIV/0!	100%

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	日頃より節水に心がけた結果、毎月の使用量が減少し、又、前年より降雪が少なく融雪に使用する水使用量が減少した為、年間を通して目標が達成できた。次年度も節水に努める。
・節水シールの貼り付け	○	
・節水型トイレの設置	○	
・洗い桶を利用して流水をしない	○	



取組紹介



単位: m³

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2021年	133	0	128	0	127	0	137	0	129	0	185	0	839
2023年	105	0	110	0	123	0	120	0	73	0	4	0	535

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・環境配慮型(低騒音、排ガス規制適合車)建設	○	全ての工事で環境配慮型の建設機械を使用した。次年度も、環境配慮型の建設機械を使用する。
・濁水防止	○	
・顧客クレーム削減	○	
・廃棄物の再資源化の推進(別項目で実施)	○	

取組紹介



□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

[トップへ](#)

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の保管基準、収集運搬・中間処理契約、産業廃棄物管理票(マニフェスト(管理票))交付、保管、交付状況報告	遵守
建設リサイクル法	特定建設資材使用解体工事・分別解体計画、建設副産物適正処分	遵守
建設副産物適正処理推進要綱	「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」の提出	遵守
資源有効利用促進法	パソコン、ディスプレイの再生利用協力	遵守
排出ガス対策型建設機械指定制度	公共事業への排ガス対策型建設機械の使用義務	遵守
オフロード法 特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律	地方等の公共事業への対策型建設機械の使用義務	遵守
大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業を伴う建設工事・一般粉じん発生施設、解体工事時のアスベスト事前調査、説明、届出	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出	遵守
振動規制法	特定建設作業の届出	遵守
水質汚濁防止法	油類・有害物質の保管、事故の措置	遵守
消防法	危険物の保管	遵守
家電リサイクル法	エアコン、ブラウン管テレビ、液晶テレビ、洗濯機、冷蔵庫、冷凍庫の廃棄物排出時の適切な引き渡しと料金の支払い(家電リサイクル券)	遵守
自動車リサイクル法	廃自動車リサイクル券	遵守
フロン排出抑制法	業務用エアコン・冷凍庫・冷蔵庫の簡易点検、定期点検、解体工事時の事前調査	遵守
滋賀県自然環境保全条例	自然環境の破壊の防止、植生の回復、緑地の造成その他の自然環境の保全	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定: 火災の発生	
■実施日: 2023年12月15日	■実施場所: 本社・事務所
■参加者: 社員5名参加	■実施内容: 火災訓練による避難訓練を実施した
■評価: 事務所で火災が発生したことを想定して、訓練を実施しました。毎年実施しているので、特に問題も無く避難出来ました。日頃の訓練が大切なので、今後も実施していこうと思います。	手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし
■実施状況の様子  	

今期は前年度同様、稼働する現場が増えたことと、併せて現場までの距離が遠いためガソリンや軽油が必然的に増加した結果となりました。
現場では、アイドリングストップを試みるなどできる限りの見直しはしましたが目標達成にはいたりませんでした。環境美化活動に関しては、毎月実施しているエコフオスターも定着しているので次年度は、引き続き使用量の削減や地域貢献にも努めることとし、目標は次年度の結果で変更を検討する、

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

□これまでの環境活動の紹介

滋賀県が推進している地域の美化活動である淡海エコフオスター制度に登録し、毎月1回地域の美化活動に取り組んでいます。又、県や市町が実施する「びわこの日一斉清掃」等の美化活動にも積極的に参加しています。



□編集後記

昨年度に引き続き、今年度も「気付き・提案・実行・改善」を意識して1年間取り組みました。目に見えて大きな変化はありませんが、引き続き全社員が意識を持つことで次年度以降は成果が表れることを期待します。